

第318回講習会「第13回最先端の研究室めぐり」
宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

申込締切 平成19年1月12日 (金)
開催期日 平成19年1月19日 (金)

主催：精密工学会

企画：事業部会企画第3グループ

協賛 (予定)：機械振興協会、計測自動制御学会、産業技術総合研究所、電気学会、日本機械学会

地球の上空400kmを回っている国際宇宙ステーション (ISS) には、すでに宇宙飛行士が数ヶ月にも渡り滞在し宇宙実験のため活動を行っています。日本でも、実験室「きぼう」を建設し、2010年に完成を目指すISSの開発に参加しています。21世紀の今、宇宙航空技術は私たちの身近なものになりつつあり、宇宙を目指すことは単なる夢ではなく、わが国の経済発展のため、生活の質の向上のため、安全の確保のため、そして人類の持続的発展のために、非常に重要な活動となっています。これら宇宙航空科学研究の推進を目的とし2003年、独立行政法人「宇宙航空研究開発機構 (JAXA)」が誕生しました。今回の講習会では、人工衛星やロケット、惑星探査機など将来の宇宙機の研究開発や開発試験など、宇宙開発に不可欠な技術研究の中核を担う筑波宇宙センターを訪問します。そして、プロジェクトに共通の技術基盤を形成し、より確実なプロジェクトの遂行のため、高度な研究活動でJAXAを支える総合技術研究本部を中心に見学いたします。宇宙開発と機械技術の関わりに興味ある工学分野の研究者、学生の方々、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日 時 平成19年1月19日 (金) 13時～17時20分
会 場 筑波宇宙センター(茨城県つくば市千現2-1-1)

コーディネータ 上野 敏幸 (東京大学)、中村 明生 (東京電機大学)

内 容

(1) 13:00～14:20分 筑波宇宙センター見学

(見学コース：展示室、ビデオ上映、宇宙ステーション試験棟、無重力環境試験棟等)

(2) 14:30～15:00分 講演「JAXA宇宙開発事業について」(仮)

(3) 15:20～16:50分 総合技術研究本部見学

(宇宙用部品の開発、高性能姿勢制御、宇宙用計測センサに関する研究開発等)

見学内容に関しては都合により当日急遽変更となる場合もございますが、ご容赦願います。

集合場所：筑波宇宙センター広報・情報棟 (E-2) http://www.jaxa.jp/about/centers/tksc/map_j.html

つくばエクスプレス：最寄り駅「つくば駅」A3・A4出口

路線バス 約10分 ④番乗り場「荒川沖駅」行き「物質材料研究所前」下車

JRハイウェイバス：つくば号 約60分

東京駅八重洲南口「つくばセンター」行き「並木一丁目」下車

JR常磐線：最寄り駅「荒川沖駅」西口下車

路線バス 約20分 ④番乗り場「筑波大中央」または「つくばセンター」行き「物質材料研究所前」下車

定 員 30名 (先着順で定員になり次第締め切ります)

参 加 費 会員 2000円、非会員 3000円、学生会員 無料

(本参加費は本見学会実施にあたっての精密工学会の諸経費に充当されます)

申込締切 平成19年1月12日 (金)

申込方法 会告*****ページ掲載の講習会・シンポジウム等

申込方法参照

申 込 先 社団法人精密工学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-5-9, 九段誠和ビル2F, 電話03-5226-5191, FAX03-5226-5192

学会ホームページ <http://www.jspe.or.jp/service/seminar/seminar.html> から申し込みできます。